

競技スポーツに取り組む中で人間力を高める

部活動指導をしているのは、「生徒の喜ぶ顔をみたい」という気持ちが一番です。試合で自己記録を更新して喜ぶ姿、大会で勝った時の笑顔を見た時に、指導してきて良かった、と感動します。

スポーツ特別強化指定校の指導者として部活動指導に取り組む中で大切にしていることは、競技力の向上を目指す中で、人間力を高めるといことです。競技力向上を目指すためには、生徒を競技者（アスリート）に成長させなければならないと感じます。一人のアスリートとして、自分で考え、自分で行動し、自分自身をコントロールできる自立を目指しています。指導者は、その為の材料を与え、厳しさ、優しさ、楽しさを共有する中で、同じ夢や目標に向かって行くのが理想です。競技力が向上しても、一人の人間としての成長がなければ育てたことにならないと思います。部員には、チーム内での役割を果たすことや、応援してくださる全ての人に感謝の心を忘れない人に成長して欲しいと考えています。

また、競技スポーツで結果を求めるならば目標設定が大切であり、一日一日の積み重ねのプロセスを大事にしています。部員には、毎日練習日誌を書かせています。日誌を書くことで自己を振り返り、自分を分析し理想の自分に近づく為に具体的な行動目標を設定させます。夢や目標があっても、具体的な行動がなければ達成することはできません。また、練習日誌で目に見えない心の成長を感じることができます。

今年、素直で一生懸命に陸上競技に取り組む生徒に恵まれて県高校総体で8連覇を達成することができました。毎年メンバーが替わる高校スポーツで勝ち続けることの難しさを感じますが、そのためには、選手が指導者の考えを理解し、伝統を守るのではなく更に発展させることと、スポーツに必要な、心・技・体の3要素だけでなく、生活の指導や、大会のボランティア活動などの経験が必要だと思ひます。連覇を達成することができたのは、今まで出会った部員達の努力と人間力の向上に力を入れて指導しているからだと思ひます。

楽しく生徒と関わる

本年は3年生の担任を担当していますが生徒と関わる毎日が楽しく充実しています。以前は、部活動指導ばかりに目がいき、クラス経営に行き詰まり楽しさを見つけない時もありました。しかし、最近生徒と関わることで自分自身が成長するチャンスだということに気づきました。自分が陸上競技の指導に熱中し、真剣に取り組む姿をみせたり、教師という仕事を生き生きと行うことで高校生に夢を与えられるのではないかと思ひます。これからも生徒の喜ぶ顔をみるために、夢を共有できるように努力をしていきたいと思ひます。

写真キャプション

- ・ 体育祭でのクラス写真
- ・ 高校総体でリレーで逆転優勝して喜ぶ生徒の笑顔